

|                  |   |                 |               |
|------------------|---|-----------------|---------------|
| 講義コード            | 1150  | 科目区分            | 専門教育科目        |
| (フリガナ)           | ホイクナイヨウ(ヒョウゲンニ)   | (フリガナ)          | イシカワ ショウイチ    |
| 授業科目名            | 保育内容(表現Ⅱ)   | 担当教員名           | 石川 正一         |
| 英文授業科目名          |   |                 |               |
| 基準年次(開講期)        | 2年次(後期)   | 履修形態            | 保育士必修 幼稚園課程必修 |
| 曜日/時限/講義室        | 火曜日/4時限/保育実習室   |                 |               |
| 授業の方法            | 演習  | 授業の方法<br>(詳細情報) |               |
| 単位               | 2   | 週時間             | 2             |
| 授業のキーワード         |   |                 |               |
| 授業概要・目的          | 保育目標を達成するために、乳幼児期誘導に必要な造形表現誘発過程や技法について習得させる。特に、子ども達総合的な活動である遊び誘導中、造形表現もつ意味を理解させ、保育方法について学ぶ。また、保育士として発達過程に即して子ども理解をし、総合的に指導や援助が行えるように実践的な力を習得する。 |                 |               |
| 到達度評価の<br>評価項目   | 幼児期誘導造形表現誘発及び教育的意義について理解し、指導計画を作成することができる。  |                 |               |
| 授業計画             |   |                 |               |
| 第1回              | オリエンテーション 授業概要について  |                 |               |
| 第2回              | 乳幼児期誘導造形表現について ・ 新生児～2歳児誘導描画を中心とした発達過程について  |                 |               |
| 第3回              | " ・ 3歳～4歳誘導描画を中心とした発達過程について   |                 |               |
| 第4回              | " ・ 5歳～6歳描画を中心とした発達過程について   |                 |               |
| 第5回              | 日本誘導造形教育変遷 ・ 近代から大正時代   |                 |               |
| 第6回              | " ・ 昭和から現代まで  |                 |               |
| 第7回              | 表現と材料用具について ・ 平面表現で使われる材料用具   |                 |               |
| 第8回              | " ・ 立体表現で使われる材料用具   |                 |               |
| 第9回              | 造形表現と保育環境 ・ 物的環境について  |                 |               |
| 第10回             | " ・ 人的環境について  |                 |               |
| 第11回             | 指導計画と評価 ・ 表現教育誘導計画について  |                 |               |
| 第12回             | " ・ 指導計画誘導作成  |                 |               |
| 第13回             | " ・ 保育誘導展開と自己評価   |                 |               |
| 第14回             | 障がい児と造形表現 ・ 指導実践ビデオを鑑賞し討議   |                 |               |
| 第15回             | まとめ   |                 |               |
| 教科書・参考書等         | 随時紹介する。   |                 |               |
| 授業で使用する<br>機器等   |   |                 |               |
| 予習・復習への<br>アドバイス | 毎回水彩画誘導課題を課す  |                 |               |
| 履修上の注意・<br>受講条件等 |   |                 |               |
| 成績評価の基準等         | ここで講保育内容「表現」誘導造形について理解を深めることができたか。特に乳幼児期誘導造形誘発について理解できたか。また、表現と環境について自ら誘導意見を持つことができたかを評価します。  |                 |               |
| メッセージ            | 幼児期の造形の意義をしっかりと学びましょう。そして、様々な不思議を発見しましょう。   |                 |               |
| オフィス・アワー         |   |                 |               |
| その他              |   |                 |               |